



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治十年代の内國貿易(三・完)
Author(s)	山口, 和雄
Citation	北海道大學 經濟學研究, 5, 31-72
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/31000
Type	departmental bulletin paper
File Information	5_P31-72.pdf



明治十年代の内國貿易 (三・完)

山口和雄

一、序	二、北	三、山	四、山	五、國	六、近	七、東	八、關	九、北	一〇、結
北	陸	陰	陽	國	畿	海	東	州	海
區	區	區	區	區	區	區	區	區	道
	(以上・第二號)					(以上・第三號)	(以下・本號)		

八、關東區

神奈川縣

第二、第三、第四統計年鑑には明治十三、十四、十六三箇年の神奈川縣各港輸出入額が記されておるので、まずそ

神奈川縣港別輸出入表 (80表)

港名	年次 (明治)	輸出額 (圓)	主要輸出品	輸入額 (圓)	主要輸入品
神奈川	13年	309,780	鹽・石油・大豆	1,421,326	米・鹽・酒
	14年	164,760	鹽・麥・石油	1,278,873	燒酎・藍玉・板・石炭
	16年	147,867	小麥・鹽・石油	756,895	米・酒
浦賀	13年	1,117,735	米・大豆・鹽	1,392,446	米・鹽・大豆
	14年	655,724	米・酒・鹽	906,291	米・大豆・酒・鹽
	16年	544,844	米・鹽	744,903	米・鹽・大豆・酒・肥料
小田原	13年	89,876	炭・紙・草	284,317	酒・砂糖・石炭
	14年	110,204	木地荷・炭	391,379	砂糖・鹽・石油・藍玉
	16年	73,433	炭・三ツ俣	321,813	酒・砂糖・藍玉・材木・石油
須賀	13年	167,306	小麥・大豆・麥	158,430	干鰯・砂糖・鹽
	14年	72,893	大豆・麥	166,086	鹽・砂糖・石油・干鰯
	16年	54,284	大豆・小豆・小麥	139,933	砂糖・鹽・石油・肥料
片瀬	13年	47,031		101,132	
	14年	32,214	麥	114,239	酒・魚類
	16年	?		?	
その他 二(三) 箇所	13年	33,624		33,102	
	14年	?		?	
	16年	35,701		118,771	
計	13年	1,765,352		3,390,753	
	14年	1,035,793		2,856,868	
	16年	856,129		2,082,315	

備考 第二統計年鑑 197～198頁，第三統計年鑑 241頁，第四統計年鑑 258～259頁により作成す。

「その他二(三)箇所」は明治13年その他二箇所，明治16年その他三箇所の意である。

れをみると八〇表の如くである。

なお、明治十七年「神奈川縣統計書」には、明治十五、十六、十七三箇年の神奈川及び浦賀兩港の品目別輸出入額が掲載されておるので、ここでは最も古い明治十五年をとつて品目別に合算してみた。神奈川・浦賀兩港だけでなく、これを以て直ちに神奈川縣全体とすることは出来ないが、この兩港が主要港であるので大略を知ることができよう。すなわち

明治 15 年神奈川縣(神奈)川・浦賀)品目別輸出入額表 (81表)

品名	輸 出		輸 入		差 引	
米	13,027石	87,975 ^円	93,680石	815,451 ^円	- 80,653石	- 727,476 ^円
小麥	10,275 "	37,019	3,761 "	10,859	+ 6,514 "	+ 26,160
大豆	125,780 "	78,372	258,306 "	172,268	-132,526 "	- 93,846
鹽	803,700貫 39,300石	115,440	620,673俵	218,970	?	- 103,530
酒	3,798駄	49,209	49,072樽	370,685	?	- 320,876
醬油	—	—	10,784 "	15,437	- 10,784樽	- 15,437
石油	18,920箱	39,800	—	—	+ 18,920箱	+ 39,800
計		407,815		1,603,070	—	-1,261,165 + 65,960

備考 明治 17 年「神奈川縣統計書」により作成す。

明治 12 年東京府下米輸出入及び消費高表 (82表)

輸 入 地	輸入高 (石)
東 海 道 地 方	178,880
三 陸 地 方	190,528
北 國 地 方	150,882
中國西國地方	18,565
地廻り各地	391,722
合 計	930,577
前年より持越高	147,480
總 計	1,078,057
消 費 高	946,894
再 輸 出 高	3,583
13年へ持越高	127,580

備考 第二次農商務統計表
による。

東 京 府

「東京府統計書」にも「統計年鑑」にも東京府下の輸出入に関する記載は一切ない。「第二次農商務統計表」(明治十
(四年刊)には明治十二年の東京府下米輸出入及び消費高が記載されているので、まずそれと、八二表の如くである。

第八一表の如くである。
これによると、神奈川・浦賀の兩港は仲立港の色彩が強く、純輸出品は比較的少ない。輸入品は米が筆頭で純輸入額の約六〇%を占め、その外では酒(二五%)、鹽(八%)、大豆(七%)などが主要輸入品であつた。

明治6年10月
~同7年9月 東京府木綿輸入高表 (83表)

品 種	数 量 (箇)	仕 入 先
生白木綿・晒白木綿・色木綿・雲齋	3,135	大阪 (西國中國出產)
紺カスリ・縞木綿	61	大和
紋羽	139	紀州
染木綿・縞木綿	364	西京
晒木綿・色木綿・縞木綿	811	勢州
生白木綿・縞木綿	76	濃州
生白木綿・晒木綿・絞木綿	4,444	尾州
生白木綿	3,571	三州
木綿	161	信州
縞木綿	157	土州
生白木綿・縞木綿・雲齋	6,915	武州
木綿	8	越州
玉川晒	732	備州姫路
木綿類	239	舶來(横濱より引請分)
(計)	20,813	

備考 「明治7年府下輸出入諸産物取調書」による

明治十年代の内國貿易 山口
いま輸入高を約百萬石とし、米價を一圓に一斗三升(明治十五年東京府統計書)とすれば、輸入額は七、六九二、三〇七圓となる。

米以外の主要輸入品については、東京府下の諸問屋が明治六年十月一日より七年九月三十日に至る一箇年の輸入高を府當局に申告した數字が「明治府下輸出入諸産物取調書」なる稿本(東京都制史料館所藏)に記載されておるので、以下品目毎にそれを検討してみよう。

生糸 輸入高は五三一箇と二八九貫。一箇九貫
匁とあるので合計五、〇六八貫となる。仕入先は
岩代(福島)、羽前(米澤)、信濃(上田)、上野(大
間々)の四箇國であるが、仕入先別には輸入數量
は明らかでない。當時の生糸價格を一箇(九貫匁)
四〇〇圓とすれば、輸入額は全体で二二五、二〇
〇圓となる。

木綿 木綿の輸入高を集計すると八三表の如く
である。

これによれば、輸入總量二〇、八一三箇、一箇
いすれも一〇〇反であるので、二、〇八一、三〇〇
反となる。木綿の價格一反五十錢とすると、輸入
額は總計一、〇四〇、六五〇圓となる。

明治6年10月
~同7年9月
東京府茶輸入高表
(86表)

仕入先	輸入高 (斤)
山城	1,339,044
江州	179,666
伊勢	465,890
遠州	171,280
駿州	175,997
紀州	600
攝津	6,650
伊勢	2,940
越後	246,387
下總	624,525
上總	1,680
伊豆	1,155
常陸	91,737
武州	25,900
横濱	750
計	3,333,601

備考 出典同上。

茶の輸入高は八六表の如くである。

明治6年10月
~同7年9月
東京府葉煙草輸入高表
(84表)

品 種	輸入高 (斤)	輸入額 (圓)	仕入先
國 府 葉	70,150	11,691	薩州
茂 木 葉	800	47	泉州
館 葉	104,400	8,816	秩父上州
大山田葉	498,784	38,567	常州野州
松 川 葉	615,239	39,924	磐城
秦 野 葉	143,336	14,334	相州
小 糸 葉	99,567	12,446	上總
佐 野 葉	2,880	120	野州
會 津 葉	10,470	349	岩代
天下野葉	29,903	1,494	常州
桐ヶ作葉	6,000	300	下總
沼 田 葉	3,200	160	上州
三 浦 葉	1,050	58	相州
計	1,579,779	128,306	

備考 「明治7年府下輸出入諸產物取調書」による。

明治6年10月
~同7年9月
東京府刻煙草輸入高表
(85表)

品 種	輸入高 (玉)	輸入額 (圓)	仕入先
備 中 刻	47,400	1,896	備中
生 坂 刻	624,090	41,606	信州
清内政刻	29,490	2,453	〃
野 州 刻	607,608	43,322	野州
會 津 刻	26,350	1,638	岩代
國 府 刻	21,900	2,190	水戸
須賀川刻	341,152	22,368	岩代
常 州 刻	190,620	9,531	常州
阿 州 刻	57,000	4,560	阿州
計	1,945,550	129,564	

備考 同上。

煙草 煙草の輸入高を葉・刻の二種にわけて示すと八四表及び八五表の如くで、その輸入額は葉・刻合して二五七、八七〇圓であつた。

茶の東京價格を一斤四十錢とすれば、輸入額は一、三三三、四四〇圓となる。なお、輸入後の状態をみると次の如くで、半分以上が横濱を経て海外に輸出されてゐたことがわかる。

府内賣捌分	一、一七〇、七八六斤
横濱賣捌分	一、八五三、九八七
國々賣捌分	三〇八、八二八
計	三、三三三、六〇一

酒 酒の輸入高は九〇三、四八一樽、一樽三斗六升入とすれば、三二五、二五三石となる。一樽五圓（明治十二年東京相場）とすれば、輸入額四、五一七、四〇五圓となる。このうちどれだけが他に再輸出されたかは明らかでない。

鹽 鹽の輸入高二四〇萬俵、一俵五斗入とすれば一、二〇〇、〇〇〇石となる。また、一俵の價格を五〇錢（明治十二年東京相場）とすると、輸入額は一、二〇〇、〇〇〇圓となる。再輸出高は酒同様明らかでないが、仕入先については阿波一〇〇萬俵、赤穂六〇萬俵、其の他八〇萬俵となつてゐる。

砂糖 砂糖の輸入高は八七表の如くで、輸入總計六、四七〇、六四二貫（價額一、七五二、六一五圓）に達するが、そのうち八五%以上が舶來糖であつた。また、その再輸出高及び府下消費高は次の如くで、輸入高の半分近くが再輸出されていたことがわかる。

明治6年10月1日～同7年9月30日
東京府砂糖輸入高表（87表）

品 種	輸入高 (貫)	仕入先
黒 砂 糖	118,331	薩州
〃	5,376	土州
(小計)	123,707	
白 砂 糖	504,243	讃州
〃	18,342	泉州
〃	27,398	駿州
〃	6,321	遠州
(小計)	556,304	
白 下 地	76,960	泉州
〃	3,072	駿州
〃	12,496	遠州
(小計)	92,528	
蜜 砂 糖	25,718	讃州
〃	27,873	泉州
〃	40,832	駿州
〃	15,312	遠州
(小計)	109,735	
和砂糖合計	882,274	
舶來砂糖	5,608,368	
總 計	6,470,642	

和物白黒砂糖

三七、五〇五樽 再輸出高
一九、三五六 府下賣捌分

明治6年10月1日
~同7年9月30日

東京府材木輸入高表 (90表)

品名	輸入量	輸入額 (圓)
角類尺ノ	360,000本	?
束物	350,000束	?
丸太割木	120,000本	?
計		1,500,000

明治6年10月1日
~同7年9月30日

水油東京府下輸入高表 (91表)

仕入先	輸入量 (樽)	輸入額 (圓)
大阪井堺水油	11,883	83,849
伊勢産美濃水油	27,676	234,637
計	39,559	318,486

水油 水油の輸入高は九一表の如くである。輸入高三九、五五九樽のうち七、九一六樽が再輸出され、他は東京市中に賣捌かれた。

なおこの外、魚介類も重要な輸入品であつたが、前記「取調書」によつては明らかにすることができない。

以上述べたところにより東京府下の輸入品を一括してみると九二表の如くである。

なお「東京市史稿」には明治十七年當時の輸入高が記

三・攝州方面に再輸出された。

材木 材木の輸入高は九〇表の如くで、輸入額一五〇萬圓に達するが、仕入先及び再輸出高については明らかでない。

明治6年10月1日
~同7年9月30日

干鰯・ノ粕東京府輸入高表 (88表)

品名	輸入量 (俵)	輸入額 (圓)
干鰯	266,400	296,400
ノ粕	70,000	140,000
計	336,400	406,400

備考 干鰯1俵は6貫乃至8貫。ノ粕1俵は7,8貫乃至30貫。

同上仕入先 (89表)

安房	86,700俵
上總	150,100
下總	23,400
常陸	40,000
陸前	27,600
陸奥	8,600
計	336,400

同 小樽 三、三一八樽 再輸出高

舶來砂糖 一、五五九 府下賣捌分

二九、三九〇俵 再輸出高

一三一、一三三 府下賣捌分

魚肥 干鰯・ノ粕の輸入高及び仕入先は八表及び八九表の如くである。このうち、干鰯六二、〇〇〇俵、ノ粕一五、〇〇〇俵が尾・

明治初年東京府輸入品表 (92表)

品 名	輸 入 高	輸入額 (圓)
米	1,000,000石	7,692,307
生 糸	5,068貫	225,200
木 綿	2,081,300反	1,040,650
煙 草	{ 葉 1,579,779斤 刻 1,945,550玉	128,306
茶	3,333,601斤	1,333,440
酒	325,253石	4,517,405
鹽	1,200,000 "	1,200,000
砂 糖	6,470,642貫	1,752,615
魚 肥	336,400俵	406,400
材 木		1,500,000
水 油	39,559樽	318,486

米は明治12年、他はいずれも明治6年10月より同7年9月に至る1箇年の輸入高。

明治17年東京府輸入品表 (93表)

品 名	輸 入 高	輸入額 (圓)
酒 類	328,778石	4,833,180
醬 油	73,000 "	496,400
鹽	198,654 "	284,067
魚貝海獸肉	27,753,800貫	3,520,945
鱈 節	152,847 "	122,277
米・豆類	1,290,988石	8,810,683
麥・蕎麥	91,500 "	296,000
茶	189,066貫	567,098
炭	25,098,800 "	169,919

東京市史稿港灣編第4卷 207 頁による。

これらの輸入品の相當部分が再輸出されたことは前記の如くであるが、外に純粹の輸出品ももちろん存在した。それらとしては諸工藝品・海苔・紙などが考えられるが、適確なことは資料缺除のため明らかでない。

千葉 縣

第二統計年鑑には、明治十三年の千葉縣各港輸出入額が九四表の如く記されておる。

次に輸出入品であるが、「千葉縣統計書」によつて明治十九年の寒川・銚子・佐原三港の輸出入品を知ることができ、それを整理合算し、假に千葉縣のそれとして表示すると九五表の如くである。

これによると、主要輸出品は水産物で鮮魚は全(純)輸出額の二二%を、乾魚(田作を含む)は一五%、干鰯・メ類は

載されているので、それを示すと九三表の如くである。

右の二表により明治初期における東京府の主要輸入品の大体を知ることができると思う。こ

七%、三者で四四%を占めておる。これに次ぐのは醬油(一七%)、鶏卵(八%)、薪炭(七八%)などであつた。主要輸入品は米で、全(純)輸入額の五一%に達し、これに次ぐのは小麥(一二%)、呉

明治 13 年千葉縣港別輸出入表 (94表)

港灣河岸	輸出額 (圓)	主要輸出品	輸入額 (圓)	主要輸入品
銚子港	232,630	醬油・絞粕	66,557	小麥・大豆
木更津海岸	81,398	玄米・白米	128,851	酒・鹽
濱野村海岸	140,675		251,362	
曾我野村海岸	139,688		16,628	
高田村河岸	157,233		10,010	
佐原村河岸	150,501		261,682	
野尻村河岸	192,893		167,980	
小見川村河岸	108,996		75,691	
行徳河岸	217,476		172,763	
其他百七箇所	1,484,245		707,312	
合 計	3,059,002		1,896,983	

第二統計年鑑 198~199頁による。

明治 19 年千葉縣品目別輸出入表 (95表)

品名	輸 出		輸 入		差 引	
米	136,516石	815,398 ^円	178,562石	982,609 ^円	- 42,046石	-167,211 ^円
醬油	17,768 "	174,000	—	—	+ 17,768 "	+194,000
干 鰯	412,500貫	29,250	—	—	+412,500貫	+ 29,250
鰯×粕	249,455 "	38,941	—	—	+249,455 "	+ 38,941
田 作	390,000 "	61,500	—	—	+390,000 "	+ 61,500
乾 魚	354,000 "	95,000	—	—	+ 354,000 "	+ 95,000
鮮 魚	416,380 "	222,200	—	—	+416,380 "	+222,200
薪 炭	2,354,350 "	78,860	—	—	+2,354,350 "	+ 78,860
鶏 卵	150,000 "	82,800	—	—	+150,000 "	+ 82,800
茶	36,000 "	54,900	—	—	+ 36,000 "	+ 54,900
吳服太物	55,500反	48,480	84,050反	72,975	- 28,550反	- 24,495
砂 糖	72,109貫	23,631	151,219貫	47,607	- 79,110貫	- 23,976
酒	865石	11,784	1,728石	33,600	- 853石	- 21,816
小 麥	—	—	12,596 "	39,859	- 12,596 "	- 99,859
大 豆	—	—	12,194 "	49,659	- 12,194 "	- 49,659
その他		178,470		10,884		+167,586
合計		1,915,214		1,237,283		+1,005,037 - 327,016

備考 明治19年「千葉縣統計書」により作成す。

明治 16 年茨城縣港別輸出入表 (96表)

	輸 出 額 (圓)	主要輸出品	輸 入 額 (圓)	主要輸入品
高 濱 河 岸	259,417	米	193,583	砂糖・絞粕
久 保 田 河 岸	350,309	葉萁	59,369	鹽・石油
境 河 岸	3,666,756	糸・太物	1,692,413	砂糖・石油
鉾 田 河 岸	355,143	米	219,910	砂糖・石油・吳服太物
土 浦 河 岸	144,761	米・大豆・小麥	25,696	砂糖・吳服太物
その他四箇所	160,811	—	185,584	—
合 計	4,937,197		2,376,555	

備考 第四統計年鑑 259~260頁による。

明治十年代の内國貿易
山口

明治 17 年茨城縣品目別
輸出品表 (97表)

品 目	数 量	價 格 (圓)
絹糸	88,784個	2,723,914
煙草	?	411,088
米	74,359石	364,477
漆器	10,829個	105,725
蒟蒻	?	101,107
眞綿	1,950個	87,000
茶	?	83,902
漆	?	72,701
炭	?	69,355
結城紬	6,688反	62,226
鶏卵	1,168,920個	58,081
紙	26,889 "	54,131
人參	2,035 "	51,190
その他		322,700
合計		4,567,597

備考 明治17年「茨城縣統計書」により作成す。

服太物(八%)、砂糖(七%)、酒(六・八%)などであつた。もつとも、右は斐川・銚子・佐原三港の數字で、これを以て全体を推すことはできないが、大体のことは推察できるかと思う。

茨 城 縣

第四統計年鑑には明治十六年の茨城縣各港輸出入額が掲載されておるので、まずそれを見ると九六表の如くで、境港の地位が極めて高いことが注目される。

次に輸出入品であるが、明治十七年「茨城縣統計書」には久保田・那珂・高濱・鉾田・境・水海道・土浦の七港の輸出入品が掲載されておるので、まず輸出品を整理してみると九七表の如くである。

明治17年茨城縣輸入品表 (98表)

品目	數量	價格 (圓)
吳服太物	272,286反	715,166
古 着	22,519個	372,805
小間物	7,439 "	348,497
鹽 魚	6,000 "	86,775
鹽 鮭	6,600石	42,550
干 粕	15,866俵	42,873
		172,198
砂 糖	142,694匁	86,670
綿	58,340 "	74,052
洋 糸	29,055個	63,888
石 油	20,270函	53,658
鹽	122,777俵	33,521
蠟 燭	3,000個	15,000
陶 器	5,234 "	14,181
計		1,949,636

備考 明治17年「茨城縣統計書」
により作成す。

最大の輸出品は絹糸で全輸出額の約六〇%を占めておる。絹糸は全部利根川の上流に位する境港から輸出されたので、これは埼玉・栃木・群馬方面の絹糸がここに集まつて輸出されたのではないかと思われる。絹糸に次ぐものとしては、煙草(九%)、米(八%)等があげられる。

輸入品をみると九八表の如くである。

最大の輸入品は吳服太物で全輸入額の約三七

%に達する。これに次ぐのは古着(一九%)、小間物(一八%)、鹽魚・鹽鮭・干粕等の水産加工品(九%)、砂糖(四・五%)、綿(三・八%)、洋糸(三・三%)、石油(二・七%)などであつた。

九、九州 區

福岡縣

「第二統計年鑑」には明治十三年福岡縣各港の輸出入額が揭示してあるので、まずそれを見ると九九表の如くである。

また、「西南諸港報告書」には福岡・博多・小倉・若津(今日の三潁郡大門町)四港の輸出入額が示されておるので、それを見ると一〇〇表の如くである。

この二表によつて當時福岡縣の主要港は博多及び若津の兩港であつたことがわかる。次に一〇〇表所載の四港輸出入額を假に福岡縣全体のそれとみなして、まず輸出品を整理してみると一〇一表の如くである。

明治13年福岡縣港別輸出入表 (99表)

港 名	輸 出 額 (圓)	主要輸出品	輸 入 額 (圓)	主要輸入品
博 多	2,117,235	吳服・太物・米	4,460,720	吳服・太物・唐太物
若 松	706,334	米・石炭	86,036	綿
小 倉	228,893	米・生蠟	329,728	吳服・綿・酒
若 津	1,705,388	米・紙・綿	1,589,699	米・鹽
福 岡	68,557	—	119,244	—
宇 島	115,231	—	111,433	—
椎 田	102,642	—	26,130	—
蘆 原	133,195	—	43,757	—
小 保 河 岸	186,342	—	63,334	—
大 牟 田 河 岸	337,742	—	6,430	—
行司河岸大橋	220,855	—	145,583	—
その他十一箇所	409,707	—	255,725	—
合 計	6,332,121		7,237,819	

備考「第二統計年鑑」205頁による。

福岡縣港別輸出入表 (100表)

港 名	明治 12 年		同 13 年	
	輸 出 額 (圓)	輸 入 額 (圓)	輸 出 額 (圓)	輸 入 額 (圓)
福 岡	48,513 (46,993)	195,859 (194,339)	64,100 (55,785)	162,327 (154,012)
博 多	1,238,179 (856,592)	5,447,189 (5,045,519)	2,117,685 (1,561,585)	4,387,147 (3,890,126)
小 倉	39,002 (39,002)	130,838 (130,838)	221,347 (221,347)	303,323 (303,323)
若 津	1,402,668 (804,729)	1,016,232 (459,858)	1,655,281 (101,659)	1,692,566 (179,202)
計	2,728,362 (1,747,316)	6,790,118 (5,830,554)	4,058,413 (1,940,376)	6,545,363 (4,526,663)

備考「西南諸港報告書」570～578頁, 598～611頁, 619～640頁, 690～699頁により作成す。

カッコ内の數字は再輸出額を控除した純輸出入額である。

明治十年代の内國貿易

山口

福岡縣輸出品表 (101表)

品名	明治12年		同13年	
	數量	價額 (圓)	數量	價額 (圓)
生蠟	33,314俵 3,000斤 50丸	470,874	39,572俵	829,040
	白蠟	14,282俵	9,440 "	176,160
	蠟燭	?	3,993箱	47,505
		701,147		1,052,705
米	248,860俵	506,460	51,080俵	195,143
茶	9,308個	144,137	12,231個	276,221
紙	4,819丸 345個	104,165	3,779 "	24,310
	半紙	1,136個		
	白方紙	1,256 "		
		114,667		24,310
樟腦	2,722挺	58,039	2,715挺	65,693
牛馬皮	235包 15個	39,740	520個	22,520
大豆	—	—	1,519俵	27,810
鶏卵	1,603箱	8,213	5,085箱	22,068
紺絞	114包	13,909	—	—
博多織	—	—	644個	12,648
麥	?	15,076	6,445俵	11,694
その他		141,742		227,771
計		1,747,316		1,940,376

備考 出典は前表と同様。本表は再輸出額を控除したものである。

すなわち、最大の輸出品は蠟類で全輸出額の四〇%乃至五四%を占めておる。これに次ぐのは米(一〇%乃至二九%)、茶(八%乃至一四%)、紙類(一%乃至八%)、樟腦(三%)等であつた。

次に輸入品を整理してみると一〇二表の如くである。

最大の輸入品は呉服及び太物で、前者は全輸入

額の三三%乃至四二%を、後者は一八%乃至二四%を、兩者で五一%乃至六六%を占めておる。これに次ぐのは小間物類(四%乃至一一%)、荒物(二%)、生糸(一%乃至四%)、綿(一%乃至二%)、木綿(〇%八乃至一%)、唐糸(一%)、古着(〇%三乃至五%)、砂糖(二%五乃至一%七)、鹽(〇%七乃至一%二)、材木(〇%九乃至一%二)などであつた。

なお「明治十五年 福岡縣統計書」には福岡縣全体の明治十五年の輸出入額が品目別に掲げてあるので、それを整理してみると一〇三表の如くである。

福岡縣輸入品表 (102表)

品 名	明治 12 年		同 13 年	
	數 量	價額 (圓)	數 量	價額 (圓)
吳 服	10,714個	2,431,466	6,230個	1,508,727
太 物	8,769 "	1,416,232	8,225 "	841,466
{ 小 間 物	3,934 "	185,428	5,280 "	255,018
{ 西洋小間物	1,242 "	72,323	3,037 "	230,530
		257,751		485,548
荒 物	15,159 "	131,413	12,955 "	102,762
生 糸	254丸	62,468	473丸	190,960
綿	7,000本	66,594	8,477本	92,932
木 綿	1,649個	47,460	2,237個	61,802
唐 糸	789 "	59,294	1,018 "	69,580
古 着	408 "	16,737	2,420 "	226,755
{ 黑 砂 糖	6,773樽 50,000斤	45,869	7,954樽	60,888
{ 白 砂 糖	2,641樽 217,000俵	40,735	1,562 "	17,578
		86,604		78,406
鹽	712,220俵	40,407	2,232,705俵	53,437
材 木	?	57,768	?	51,885
下 足 類	3,380個	62,401	3,866個	38,262
菜 種	2,248 "	56,631	1,019 "	18,813
乾 物	5,904 "	37,716	9,357 "	54,827
金 物	1,355 "	39,820	1,704 "	33,792
石 油	13,229 "	34,399	6,501 "	21,383
雜 品	1,361 "	70,607	4,832 "	34,506
豆 粕	1,136,985斤	96,706	—	—
小 麥	—	—	38,844俵	71,637
干 鰯	6,256丸	49,110	13,000 "	9,100
干 魷	39,454個	45,184	—	—
鱈及鱈製品	?	35,813	?	29,486
昆 布	?	26,213	?	18,782
鯉 節	1,088呎 } 2,570貫 }	19,610	1,563呎	25,032
薪	6,000把 } 12,270,000斤 }	19,063	72,450把 } 14,569,670斤 }	26,067

明治十年代の内國貿易

山口

品 名	明治 12 年		同 13 年	
	數 量	價額 (圓)	數 量	價額 (圓)
唐 物	343個	30,249	—	—
酒	1,479樽	7,744	5,010樽	32,472
金 巾	50丸	7,200	?	36,640
書 籍	?	11,900	601櫃	26,230
筆 墨	448個	13,440	458個	13,200
塗 物	4,203 "	11,979	5,825 "	17,432
鐵	1,731 "	13,382	2,850 "	10,138
鯨 鱈	25,211貫 } 578俵 }	13,533	25,211貫 } 106俵 }	13,051
{大 豆	?	13,350 }	—	—
{黑 大 豆	2,000俵	5,100 }	—	—
		18,450		
煙 草	800丸	4,431	3,349箱 } 255丸 }	26,196
生 魚		12,000	—	—
簞 笥	1,330棹	11,520	—	—
種 油	1,160樽	5,863	2,113樽	10,420
そ の 他		400,136		181,477
計		5,830,554		4,526,663

備考 出典は前表と同様。本表も再輸出額を控除したものについてみたものである。

明治 15 年福岡縣輸出品表 (103表)

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
	數 量	價額 (圓)	數 量	價額 (圓)	數 量	價額 (圓)
米	468,845石	2,091,087	93,729石	694,241	+375,116石	+1,396,846
麥	大麥 361 "	1,013	898 "	2,516	— 537 "	— 1,503
	裸麥 6,189 "	17,408	1,739 "	6,516	+ 4,450 "	+ 10,892
	小麥 2,984 "	12,063	2,843 "	14,576	+ 142 "	— 2,513
	小麥粉 ?	1,134	?	715	?	+ 479
		31,678		24,323		+ 7,355
大 豆	1,057石	5,673	28,777石	72,381	— 27,720 "	— 66,708
小 豆	25 "	162	1,112 "	10,173	— 1,087 "	— 10,011

品名	輸出		輸入		差引	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
食鹽	11,905石	10,088	313,312俵 134,956石	162,279	-313,312俵 -123,051石	-152,191
清酒	24,536 "	382,826	3,706石	58,484	+ 20,830石	+324,342
砂糖 { 白 (和洋) { 赤	?	1,370	59,827貫	53,854	?	- 52,484
	?	7,028	91,752 "	51,698	?	- 44,670
		8,398		105,552		- 97,154
茶	188,397貫	180,620	5,659 "	7,918	+182,738貫	+172,702
鹽節	12,680 "	15,970	18,667 "	26,871	- 5,987 "	- 10,901
煙草 { 葉 刻	960 "	576	15,494 "	6,558	- 14,534 "	- 5,982
	28,128 "	27,187	142,111 "	101,838	-113,983 "	- 74,651
		27,763		108,396		- 80,633
吳服	10,150反	36,962	100,933反	462,994	- 90,783反	-426,032
太物	240,700 "	177,648	333,129 "	415,511	- 92,429 "	-237,863
古着	37,200枚	25,912	66,600枚	39,570	- 29,400枚	- 13,658
洋反物	—	—	?	53,986	?	- 53,986
生糸	49貫	2,175	19,300貫	83,835	- 19,251貫	- 81,670
綿糸 { 和 洋	—	—	20 "	800	- 20 "	- 800
	1,840 "	15,798	10,812 "	65,310	- 8,972 "	- 49,512
		15,798		66,110		- 50,312
繰綿(和洋)	7,255 "	37,522	177,922 "	635,166	-170,667 "	-597,644
麻苧	—	—	94,845 "	21,441	- 94,845 "	- 21,441
麻糸類	—	—	4,496 "	2,694	- 4,496 "	- 2,694
				24,135		- 24,135
藍玉	40,928 "	32,234	97,717 "	171,368	- 56,789 "	-139,134
材木	?	9,070	?	100,190	?	- 91,120
鐵 { 熟鐵 鐵塊	8,500 "	703	?	20,220		- 19,317
	18,090 "	8,908	?	51,281		- 42,373
		9,611		71,301		- 61,690
鐵釘	1,504 "	14,934	—	—	+ 1,504貫	+ 14,934
丁銅	7,569 "	13,668	—	—	+ 7,569 "	+ 13,668
瓦	1,806,300枚	14,913	745,000枚	8,341	+1,061,300枚	+ 6,572
疊表	295,460 "	32,443	58,540 "	10,669	+236,920 "	+ 21,774
水油	3,531石	95,172	980石	23,308	+ 2,551石	+ 71,864

品 名	輸 出		輸 入		差 引		
	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)	
石 油	655石	11,563	26,633石	94,463	- 25,878石	- 82,900	
薪	187,136貫	1,521	6,810,688貫	65,514	- 6,623,552貫	- 63,993	
木 炭	10,948俵	6,200	806,268 "	20,264	- 795,320 "	- 14,064	
石 炭	?	104,640	?	22,386	?	+ 82,254	
紙 {和洋}	?	72,825	?	93,885	?	- 21,060	
	—	—	550枚	1,845	- 550枚	- 1,845	
肥 物		72,825		95,730		- 22,905	
	干鰯	11,750俵	6,687	36,390貫	53,505	?	- 46,818
	麥 粕	—	—	?	22,716	?	- 22,716
	鯨	—	—	5,598俵	23,093	- 5,598俵	- 23,098
				9,312貫		- 9,312貫	
	種粕	15,520貫	1,800	30,750貫	4,415	- 15,230 "	- 2,615
	酒粕	12,042 "	136	—	—	+ 12,042 "	+ 136
	石灰	401,372俵	19,585	675,837俵	48,516	- 274,465俵	- 28,931
	同石	—	—	117,332貫	564	- 117,332貫	- 564
	雜	300 "	22	—	—	+ 300俵	+ 22
菜 種		28,230		152,814		- 124,584	
	粟	12,744石	79,303	639,920俵	4,372	?	+ 74,931
		40 "	167	4,680,100 "	14,800	?	- 14,633
	甘 藷	—	—	3,254,736貫	17,657	- 3,254,736貫	- 17,657
	蒟蒻玉	20,593貫	2,893	95,036 "	13,089	- 74,443 "	- 10,196
	櫨 皮	384 "	69	61,050把	39,747	?	- 39,678
	陶 器	311丸	703	8,400丸	10,060	- 8,089丸	- 9,357
	晴雨傘	10,900本	2,820	44,571本	11,242	- 33,671本	- 8,422
	書 籍	2,559箱	62,348	351箱	8,131	+ 2,208箱	+ 54,157
	小間物 {和洋}	396 "	9,446	262 "	10,747	+ 134 "	- 1,301
78 "		1,620	6,356 "	52,368	- 6,278 "	- 50,748	
荒 物		11,066		63,115		- 52,049	
	家具類	3,344丸	5,326	25,031丸	52,253	- 21,687丸	- 46,927
	石 材	?	11,851	?	3,410	?	+ 8,441
	藥 種	—	—	?	12,605	?	- 12,605
	蠟 燭	?	7,105	?	30,686	?	- 23,581
	蠟 {蠟燭 生蠟 晒蠟}	60,090貫	61,281	94貫	268	+ 59,996貫	+ 61,013
		812,568 "	613,654	2,400 "	1,950	+ 810,168 "	+ 611,704
		233,172 "	148,520	960 "	1,024	+ 232,212 "	+ 147,496
		823,455		3,242		+ 820,213	

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
	数 量	價額(圓)	数 量	價額(圓)	数 量	價額(圓)
灰 汁	?	10,656	?	30,984	?	- 20,328
雜 品	11,839個	17,792	?	58,018	?	- 40,226
素 麵	—	—	220,196把	16,234	?	- 16,234
葛 粉	42,970貫	21,770	1,276貫	7,523	+ 41,694貫	+ 14,247
鶏 卵	5,429,800個	63,431	83,500個	1,168	+ 5,346,300個	+ 62,263
椎 茸	1,700貫	8,242	8,781貫	19,526	- 7,081貫	- 11,284
干魚類	?	95,167	?	83,664	?	+ 11,503
鹽魚類	?	2,224	?	40,260	?	- 38,036
生魚類	?	17,129	?	11,195	?	+ 5,934
昆布類	?	878	?	13,755	?	- 12,877
乾物類	?	14,958	?	15,405	?	- 447
竹 皮	67,872貫	14,303	—	—	+ 67,872	+ 14,303
その他	?	176,263	?	126,649	?	+ 49,614
合計		4,947,225		4,596,523		+ 3,302,984 - 2,986,075

備考 「明治 15 年福岡縣統計書」上 139~150 頁により作成す。

すなわちこれによると、輸出にあつては米及び蠟が主要輸出品で、前者は純全輸出額の四二%、後者は二五%を占めておる。これに次ぐのは清酒(九%)、茶(五%)、石炭(二%五)、菜種(二%二)、水油(二%一)などであつた。輸入にあつては繰綿・呉服・太物が主要輸入品で、繰綿は純全輸入額の二〇%、呉服一四%、太物八%を占めておる。これに次ぐのは食鹽(五%一)、藍玉(四%六)、肥物(四%二)、砂糖(三%二)、材木(三%〇)、石油(二%八)、生糸(二%七)、煙草(二%七)などであつた。先の「西南諸港報告書」による場合とくらべると相當の差異はあるが、主要輸出品が米及び蠟であり、主要輸入品が呉服太物であつた點においては兩者ほぼ同様である。

熊本縣

「西南諸港報告書」には熊本縣に関する記載は全然ない。第二・第三・第四「統計年鑑」によると熊本縣各港輸出入額は一〇四表の如くである。

熊本縣港別輸出入表 (104表)

港 名	年次 (明治)	輸出額 (圓)	主要輸出品	輸入額 (圓)	主要輸入品
小 島 港	13年	159,179	米・大豆・小麥	130,960	生魚・綿
	14年	170,557	米・大小豆・菜種	74,679	魚類・篠卷綿
	16年	?		?	
百 貫 港	13年	184,544	米・大豆・生蠟	112,264	酒
	14年	501,544	米・小豆・椎茸・蠟	593,458	酒・反物
	16年	1,158,878	米・牛馬皮	1,723,665	吳服太物・洋反物・荒物
高橋河岸	13年	571,272	米・大豆・粟	1,141,449	和太物・吳服類・酒
	14年	?		?	
	16年	?		?	
高瀬河岸	13年	272,836	米・大豆・小麥	28,393	玉藍
	14年	?		?	
	16年	?		?	
その他三 十七(六) 箇所	13年	500,851	—	341,273	—
	14年	?		?	
	16年	609,226	—	423,541	—
合 計	13年	1,688,491	—	1,754,339	—
	14年	?		?	
	16年	1,768,104	—	2,147,206	

備考 「第二統計年鑑」205頁、「第三統計年鑑」246頁、「第四統計年鑑」266頁により作成す。

「その他三十七箇所」は明治14年と15年、「その他三十六箇所」は明治13年の場合である。

右によつて熊本縣下各港輸出入の大略を知ることが出来るが、なお、明治十七年「熊本縣統計書」には百貫港のみの明治十五、十六、十七三箇年の輸出入額が示されているので、最も古い十五年度を整理してみると一〇五表の如くである。

これによれば、百貫港の最大の輸出品は米で、全輸出額の三〇%を占めこれに生蠟(九%)、煙草(八%)、椎茸(七%)などが續いておる。主要輸入品はまず第一に吳服反物である。吳服反物は和産

明治 15 年熊本縣百貨港輸出入表 (105表)

輸 出			輸 入		
米	22,319石	207,795 ^円	唐 糸	31,082貫	69,506 ^円
糯 米	7,395 "	70,819	洋 糸	19,536 "	41,585
大 豆	2,873 "	19,979	清 酒	1,515石	40,817
小 豆	4,015 "	37,971	呉服反物	1,276,200反	692,630
生 蠟	598,660斤	81,364	洋 反 物	67,590 "	76,238
樟 腦	76,010 "	33,155	藥 種	300,270斤	78,906
椎 茸	94,350 "	68,430	昆 布	53,925貫	120,016
紅 花	25,200 "	24,300	藍	342,800斤	145,706
晒 葛	122,580石	13,889	宇 治 茶	17,415 "	18,415
和 藥 種	133,340斤	15,529	白 砂 糖	226,110 "	34,247
葉 煙 草	123,710貫	20,308	氷 砂 糖	31,100 "	10,720
刻 煙 草	27,890斤	57,836	鐵	365,940 "	37,837
呉服太物	16,030反	43,044	和小間物	1,030個	15,164
牛 馬 皮	8,756枚	59,196	下 足 類	31,025 "	39,449
衣 類	215個	11,945	靴	1,155足	19,520
水 油	427石	12,197	書 籍	555個	38,275
雜 品 類	4,390個	124,912	石 油	8,690	23,635
			金 物	1,260個	33,600
			衣 類	510 "	27,405
			塗 物	749 "	18,720
			洋 傘	17,560本	59,170
			賣 藥	800個	28,910
			洋 藥	307 "	30,140
			雜 品 類	11,628 "	358,090
計		902,669			2,058,701

備考 明治 17 年「熊本縣統計書」により作成す。

のみで全輸入額の三三%六を占め、これに洋反物を加算すると、三七%四に當る。これに次ぐのは藍(七%)、昆布(六%)、輸入糸(五%四)、茶種(二%八)などであつた。

右と先の一〇四表とを考慮することによつて熊本縣の主要輸出入品の大略を知ることができると思う。

明治十年代の内國貿易

山口

長崎縣港別輸出入表 (106表)

港名	明治 12 年		同 13 年	
	輸出額(圓)	輸入額(圓)	輸出額(圓)	輸入額(圓)
長 崎	221,473 (151,779)	1,446,609 (1,381,950)	337,248 (139,536)	1,139,679 (941,927)
口ノ津	148,759 (148,759)	111,525 (111,525)	152,894 (152,894)	130,351 (130,351)
島 原	34,569 (25,581)	39,549 (30,561)	50,414 (23,171)	147,853 (120,610)
計	404,801 (326,119)	1,597,683 (1,524,036)	540,556 (315,601)	1,417,883 (1,192,888)

備考 カッコ内の數字は再輸出額を控除した純輸出入額である。
「西南諸港報告書」728~733頁, 749~754頁, 769~778頁
により作成す。

長 崎 縣 輸 出 品 表 (107表)

品 名	明治 12 年		同 13 年	
	数 量	價額(圓)	数 量	價額(圓)
白砂糖	821,674斤	85,384	225,452斤	26,132
黑砂糖	2,000,000 "	115,631	3,220,376 "	139,334
唐黑砂糖	804樽	13,980	—	—
氷砂糖	34,431斤	6,473	2,064 "	1,236
	62,850 "	221,468		166,702
白蠟	74,087 "	10,800	—	—
生蠟	—	—	180,000 "	29,400
蠟燭	25,000 "	2,900	20,000 "	3,200
	—	13,700	11,600 "	2,204
		13,700		34,804
大豆	1,596石	7,222	3,318石	13,221
唐大豆	—	7,222	2,780 "	14,580
		7,222		27,801
唐綿	5,305丸	14,334	—	—
洋反物	—	—	60個	8,760
唐反物	—	—	36 "	3,240
				12,000
洋小間物	—	—	180 "	5,052
和小間物	—	—	192 "	5,040
				10,092
石炭油	3,967箱	10,225	1,740箱	4,320
その他		59,170		64,202
計		326,119		315,601

備考 出典は前表と同様。本表は純輸出額についてみたものである。

長 崎 縣
「西南諸港報告書」には長崎縣としては長崎・口ノ津・島原三港の輸出入額が掲載されておるので、まずそれを示すと一〇六表の如くである。

やはり右三港の輸出入額を假に長崎縣全体の輸出入額とみなして、まず輸出品を整理してみると一〇七表の如くである。

主要輸出品は砂糖であつて、全輸出額の五二%乃至六八%を占める。これに次ぐのは蠟類(五%乃至一一%)、大豆(二%乃至九%)などであつた。

輸入品は一〇八表の如くである。

最大の輸入品は呉服及び米で、前者は全輸入額の三五%乃至五五%を、後者は二〇%内外を占めてゐる。これらに次ぐものとしては酒(三%乃至八%)、綿(二%乃至五%)、椎茸(一%乃至四%)、鰺(二%乃至三%)、鰺鮓(一%三乃至三%)、材木類(二%乃

長崎縣輸入品表 (108表)

品名	明治 12 年		同 13 年	
	数 量	價額(圓)	数 量	價額(圓)
吳 服	8,420個	832,975	1,920個	414,780
米	45,141石	284,749	126,335石	249,113
朝鮮米	1,522 "	10,069	—	—
唐 米	786 "	3,930	—	—
		298,748		249,113
酒	8,967樽	42,622	17,272樽	99,766
綿	3,695本 } 13,017斤 }	33,385	4,620本 } 64,100斤 }	55,778
椎 茸	2,903個	59,967	1,793個	15,818
鰺 鮓	249,000斤 } 650本 }	46,994	80,000斤 } 650本 }	11,480
鰺 鮓	77,000貫	20,790	110,000貫	38,500
材木類	?	26,657	?	39,813
洋藥類	—	—	96個	30,264
鹽	95,000俵 } 3,265石 }	16,562	372,000俵	28,883
干海老	120,300斤	26,465	30,720斤	5,520
石 炭	—	—	13,401,000 "	20,060
薪	8,000,000 "	13,600	9,430,000 "	19,739
醬 油	4,459樽	15,606	432樽	1,391
鰻	10,335斤	2,896	73,536斤	14,196
煎海鼠	—	—	30,336 "	16,272
麥 麵	—	—	9,600 "	18,240
干 鱈	—	—	100,000 "	11,050
その他		86,769		102,225
計		1,524,036		1,192,888

備考 出典は前表と同様。本表も純輸入額についてみたものである。

やはり長崎港の地位が壓倒的である。次に輸出入品を整理してみると一一〇表の如くである。

明治17年長崎縣港別輸出入表
(109表)

港 名	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)
長崎	3,410,333	4,194,566
島津	7,054	31,971
口原	426,390	428,026
島原	61,414	66,581
諫早	165,988	96,744
大津	9,974	15,162
早岐	10,081	14,036
戸原	18,316	88,234
田助	241	8,136
福江	5,116	23,167
勝本	2,186	2,631
郷浦	10,429	15,018
巖原	15,072	54,244
合計	4,142,594	5,038,516

備考 明治17年「長崎縣統計書」
83丁による。

至三%)、鹽(一%乃至二%)などがあげられる。
明治十五年及び十六年の「長崎縣統計表」並びに明治十七年「長崎縣統計書」にはそれぞれ縣下の港灣輸出入額が掲載されているが、その中比較的完全なのは明治十七年の數字と思われるので、それを整理してみると一一〇九表の如くである。

明治17年長崎縣輸出入表 (110表)

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)
米		168,915	399,667石	2,233,645	?	-2,064,730
小 麥	23,789石	67,549	24,556 "	85,956	- 767石	- 18,407
茶	101,064貫	61,552	70,251貫	33,176	+ 30,813貫	+ 28,376
洋產白砂糖	130,372 "	60,806	280,170 "	135,445	-149,798 "	- 74,639
洋產黑砂糖	144,395 "	28,151	333,982 "	61,975	-189,587 "	- 33,824
和產白砂糖	1,595 "	1,422	—	—	+ 1,595 "	+ 1,422
和產黑砂糖	25,850 "	5,634	239,481 "	28,311	-213,631 "	- 22,677
		96,013		225,731		-129,718
葉 煙 草	76,729 "	34,628	78,202 "	36,465	- 1,473 "	- 1,837
刻 煙 草	5,364 "	11,635	9,746 "	9,513	- 4,382 "	+ 2,122
		46,263		45,978		+ 285
吳 服	4,416反	14,380	242,758反	233,791	-238,342反	-219,411
太 物	34,188 "	26,123	240,797 "	296,155	-206,609 "	-270,032
洋 反 物	—	—	13,026 "	16,274	- 13,026 "	- 16,274

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)	數 量	價額(圓)
{ 洋産 繰 綿 和産 繰 綿	116,979貫	117,239	174,128貫	161,444	- 57,149貫	- 44,205
	—	—	17,585 "	23,600	- 17,585 "	- 23,600
		117,239		185,044		- 67,805
{ 松 板 松	177,693枚	12,768	226,615枚	21,122	- 48,922枚	- 8,354
	—	—	18,943本	21,257	- 18,943本	- 21,257
		12,768		42,379		- 29,611
石 油	17,558函	34,315	74,714函	108,304	- 57,156函	- 73,989
炭	496,870貫	10,728	?	10,140	?	+ 588
石 炭	?	1,238,917	?	1,061,519	?	+ 177,398
紙	116,656束	16,017	142,305束	20,310	- 25,649束	- 4,293
鰯	508,746貫	327,323	146,035貫	110,311	+ 362,711貫	+ 217,012
乾 鮑	18,470 "	18,334	21,563 "	29,693	- 3,093 "	- 11,359
鱧 鰯	94,586 "	19,089	8,510 "	7,894	+ 86,076 "	+ 11,159
煎 海 鼠	39,106 "	32,813	19,772 "	46,522	+ 9,334 "	- 13,709
干 鰯	10,932 "	10,355	—	—	+ 10,932 "	+ 10,355
總 角 貝	47,166 "	18,608	—	—	+ 47,166 "	+ 18,608
生 蠟	26,161 "	22,337	19,367 "	18,427	+ 6,794 "	+ 3,910
樟 腦	159,360 "	71,033	118,042 "	47,561	+ 41,318 "	+ 23,472
椎 茸	33,692 "	46,176	37,137 "	40,081	- 3,445 "	+ 6,095
大 豆	9,875石	32,042	1,795石	5,735	+ 8,080石	+ 26,307
食 鹽	3,330 "	2,960	24,287 "	22,257	- 20,957 "	- 19,297
清 酒	1,182 "	12,445	10,880 "	48,538	- 9,698 "	- 36,093
水 油			2,261 "	33,588	- 2,261 "	- 33,588
そ の 他		20,625		139,696		- 119,071
合計		2,524,294		5,148,705		+ 523,601 - 3,127,387

備考 明治17年「長崎縣統計書」83~86頁により作成す。

本表は輸出入品とも長崎港は原價1萬圓以上、その他の諸港は1千圓以上に達する分のみについて整理したものである。

明治 17 年佐賀縣港別輸出入表
(111表)

港 名	輸出 (圓)	輸入 (圓)
諸 富	853,383 (841,383)	519,923 (507,923)
唐 津	312,080	82,370
伊 萬 里	88,106	265,778
住 ノ 江	56,331	—
計	1,309,900 (1,297,900)	868,071 (856,071)

備考 カツコ内の數字は純輸出入額。
唐津港輸出入額は17年度の數字
を缺くので18年度の數字を採用
した。
明治21年「佐賀縣統計書」130丁
により作成す。

佐 賀 縣

右表によると、主要輸出品は錫及び石炭で、前者は純輸出額の四一%、後者は三四%を占めてゐる。主要輸入品は米及び呉服太物類で、前者は純輸入額の六六%、後者は一六%にあたる。主要輸入品については「西南諸港報告書」の場合と大差ないが、主要輸出品は全く異なる。これは對象の年次が異なるのと、後者すなわち「長崎縣統計書」によるものがより、包括的なためと思われる。

明治二十一年「佐賀縣統計書」には、十七年以降の諸富・唐津・伊萬里・住ノ江四港の輸出入額が掲載されてゐる。ここでは十七年度をみると一一一表の如くである。

次に右四港の輸出入額の合計を以て佐賀縣全体のそれとみなして輸出入品を整理してみると一一二表の如くである。

すなわち、最大の輸出品は米で、全輸出額の約五〇%を占めてゐる。これに次ぐのは、石炭(二三%)、陶磁器(七%)、小麥(四%)などであつた。輸入品では呉服反物(二七%)、煙草(一四%)、繰綿(一〇%)、藍玉(七%)、石油(六%)などが主要なものであつた。

明治 17 年佐賀縣輸出入品表 (112表)

品名	輸 出		輸 入		差 引	
米	167,156石	636,520 ^円	3,600石	21,600 ^円	+163,556石	+614,920 ^円
小 麥	22,295 "	52,470	—	—	+ 22,295 "	+ 52,470
干 揚 卷	5,400貫	15,000	—	—	+ 5,400貫	+ 15,000
清 酒	1,627個	14,866	625 "	12,000	?	+ 2,866
生 蠟	21,200斤	15,122	—	—	+ 21,200斤	+ 15,122
紙	?	20,000	—	—	?	+ 20,000
干 鰯	?	10,000	—	—	?	+ 10,000
石 炭	?	304,920	—	—	?	+304,920
魚 類	?	17,000	—	—	?	+ 17,000
大 豆	?	10,000	—	—	?	+ 10,000
陶磁器	222,650個	88,106	—	—	+222,650個	+ 88,106
砂 糖	—	—	149,185斤 } 12,120貫 }	43,272	-149,185斤 } - 12,120貫 }	- 43,272
葉 煙 草	—	—	54,635貫	120,180	- 54,635貫	-120,180
藍 玉	—	—	3,000俵 } 50,450貫 }	59,050	- 3,000俵 } -50,450貫 }	- 59,050
吳服反物	—	—	191,964反 } 3,504捆 }	229,287	-191,964反 } - 3,504捆 }	-229,287
熟 鐵	—	—	54,084貫	18,030	- 54,084貫	- 18,030
石 油	—	—	17,468兩	57,274	- 17,468兩	- 57,274
肥 物	—	—	221,176貫	28,955	-221,176貫	- 28,955
材 木	—	—	62,264本	23,300	- 62,264 "	- 23,300
薪	—	—	840,452貫	23,949	-840,452 "	- 23,949
木綿洋糸	—	—	12,096 "	27,000	- 12,096 "	- 27,000
和 繰 綿	—	—	43,200 "	75,960	- 43,200 "	- 75,960
洋 繰 綿	—	—	5,760 "	14,100	- 5,760 "	- 14,100
そ の 他		113,876		145,386		- 31,510
計		1,297,900		856,071		+1,150,123 - 742,195

備考 明治 21 年「佐賀縣統計書」により作成す。

明治十年代の内國貿易

山口

大分縣

明治十五年「大分縣統計書」には中津港以下四十一港の輸出入額が掲載されておるので、まずそれを見ると一一三表の如くである。

明治15年大分縣港別輸出入表
(113表)

港名	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)
中津	161,506	112,285
今布長	9,154	2,470
津部洲	5,590	2,100
岸田	50,829	11,734
河目	70,157	—
館々	8,777	10,606
高香見	15,764	7,973
伊美	3,433	—
櫛岐殿	1,372	4,703
熊來	1,750	—
堅富	3,587	—
田在	27,385	18,428
今古	—	—
安岐	1,470	—
杵深	11,461	—
日小	3,563	—
別大	34,397	17,277
新大	64,620	11,000
大	62,647	4,385
新	34,281	5,255
大	50,691	6,883
府分	68,798	11,089
川内	1,759	—
脇岸	19,471	4,856
津浦	3,532	—
河浦	61,328	136,430
白鶴	99,434	30,144
望河	31,382	8,051
伯江	—	19,653
代利	—	7,492
江尾	95,918	46,229
市丸	10,919	—
河岸	4,334	—
限	45,268	16,510
計	6,639	1,883
	41,885	9,995
	20,164	—
	3,551	—
	3,608	—
	12,259	6,692
	7,200	—
	171,254	6,964
計	1,332,137	515,087

備考 明治15年「大分縣統計書」214
～215頁による。

右四十一港の合計輸出入額は大分縣全体の貿易額とみて差支えない。そこでこれらの輸出入額を品目別に合算し、大分縣としての主要輸出入品を整理すると一一四表の如くである。

すなわち、主要輸出品は青筴及び米で、前者は純輸出額の三一%五を、後者は二六%七を占めておる。これに次ぐのは竹類(六%)、材木(五%)、生蠟(三%)、大豆(三%)、鰯(三%)、炭(二%五)など。主要輸入品は太物(二四%)を筆頭に砂糖(二二%)、綿(一六%)、酒(八%)、藍玉(六%)、石炭(六%)などであつた。

最後に主要輸出品たる青筴及び米の明治十五年の生産高と輸出高を比較してみると一一五表の如くである。

明治 15 年大分縣輸出入表 (114表)

品名	輸 出		輸 入		差 引	
米	68,024石	358,983 ^円	3,428石	25,643 ^円	+ 64,596石	+ 333,340 ^円
麥	1,646 "	6,775	255 "	1,071	+ 1,391 "	+ 5,704
大豆	5,714 "	39,688	305 "	2,407	+ 5,409 "	+ 37,281
雜穀	2,210 "	8,138	—	—	+ 2,210 "	+ 8,138
菜種	1,699 "	9,882	—	—	+ 1,699 "	+ 9,882
生姜	9,596貫	2,399	—	—	+ 9,596貫	+ 2,399
椎茸	14,838 "	26,480	—	—	+ 14,838 "	+ 26,480
生蠟	43,074 "	37,781	—	—	+ 43,074 "	+ 37,781
蠟燭	—	—	1,485貫	1,670	- 1,485 "	- 1,670
酒	931石	8,558	2,934石	41,708	- 2,003石	- 33,150
砂糖	6,724貫	2,766	215,155貫	93,051	- 208,431貫	- 90,285
薪	1,612,325 "	11,766	1,122,666 "	7,974	+ 489,659 "	+ 3,792
鹽	20,661石	17,847	8,224石	7,703	+ 12,437石	+ 10,144
魚類	94,980貫	21,166	23,425貫 } 585,000尾 }	6,450	?	+ 14,716
青蕨	293,603束	394,196	—	—	+ 293,603束	+ 394,196
醬油	340石	4,500	—	—	+ 340石	+ 4,500
楡實	205,000貫	14,702	—	—	+ 205,000貫	+ 14,702
炭	414,941 "	31,065	—	—	+ 414,941 "	+ 31,065
硫黃	14,740 "	10,982	—	—	+ 14,740 "	+ 10,982
樟腦	5,917 "	8,374	—	—	+ 5,917 "	+ 8,374
檜皮	73,408 "	1,239	—	—	+ 73,408 "	+ 1,239
竹根類	143,325束	73,504	—	—	+ 143,325束	+ 73,504
古着類	20個	2,080	—	—	+ 20個	+ 2,080
牛皮	3,738枚	5,608	—	—	+ 3,738枚	+ 5,608
荒物	378個	2,203	494個	3,941	- 115個	- 1,738
干鰯	193,163貫	25,916	41,280貫	9,035	+ 151,883貫	+ 16,881
葉煙草	46,096 "	25,094	6,240 "	2,921	+ 29,856 "	+ 22,173
刻煙草	5,722 "	9,943	—	—	+ 5,722 "	+ 9,943
製糸	96 "	3,848	—	—	+ 96 "	+ 3,848
麻	3,376 "	2,599	—	—	+ 3,376 "	+ 2,599
鰯	18,721 "	36,714	—	—	+ 18,721 "	+ 36,714
紙類	70,010束	15,325	—	—	+ 70,010束	+ 15,325
貝柱	704貫	2,362	—	—	+ 704貫	+ 2,362
材木	263,920本	58,340	—	—	+ 263,920本	+ 58,340
半夏	579貫	1,111	—	—	+ 579貫	+ 1,111
製茶	6,881 "	8,850	—	—	+ 6,881 "	+ 8,850

明治十年代の内國貿易

山口

品名	輸 出		輸 入		差 引	
石花菜	7,017貫	1,106 ^円	—	— ^円	+ 7,017貫	+ 1,106 ^円
楮皮	41,270 "	11,887	—	—	+ 41,270 "	+ 11,887
板類	57,540坪	14,385	—	—	+ 57,540坪	+ 14,385
下駄	246,100足	8,434	8,300足	1,150	+237,800足	+ 7,284
綿	—	—	37,888貫	68,599	- 37,888貫	- 68,599
藍玉	—	—	6,909俵 } 16,540貫 }	25,483	- 6,309俵 } -16,540貫 }	- 25,483
魚油	—	—	120石	1,378	- 120石	- 1,378
木綿	—	—	4,293反	3,159	- 4,293反	- 3,159
石炭	—	—	1,352,658貫	25,216	-1,352,658貫	- 25,216
肥料	—	—	8,921 "	1,290	- 8,921 "	- 1,290
鯨粕	—	—	8,980 "	2,100	- 8,980 "	- 2,100
呉服	—	—	2,306反	4,500	- 2,306反	- 4,500
太物	—	—	7,406反 } 6,041個 }	103,430	- 7,406反 } - 6,041個 }	-103,430
鹽菰	—	—	282,000枚	1,340	-282,000枚	- 1,340
西洋物	—	—	6,000反	6,000	- 6,000反	- 6,000
苧麻	—	—	26,636貫	6,817	- 26,636貫	- 6,817
種油	—	—	278石	7,482	- 278石	- 7,482
小間物	—	—	1,100個	19,152	- 1,100個	- 19,152
藥種	—	—	200 "	3,990	- 200 "	- 3,990
石炭油	—	—	2,494箱	8,396	- 2,494箱	- 8,396
篠綿	—	—	3,643貫	7,576	- 3,643貫	- 7,576
その他	—	5,541	—	14,455	—	- 8,914
合計		1,332,137		515,087		+1,248,715 - 431,665

備考 明治15年「大分縣統計書」214～223頁により作成す。

大分縣米・青蘆生産高及び輸出高 (115表)

品名	生産高	輸出高	百分比
青蘆	318,478束	293,603束	92.5
米	407,022石	68,024石	16.7

備考 明治15年「大分縣統計書」により作成す。

宮崎縣

宮崎縣の諸港についても「西南諸港報告書」にはなんらの記載もない。明治十七年「宮崎縣統計書」によると、港別輸出入額は一一六表の如くである。

明治17年宮崎縣港別輸出入表 (116表)

港名	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)
赤江	217,870	89,930
油津	105,268 (104,226)	39,380 (38,338)
今町	12,992	4,215
細島	109,368	28,119
美々津	36,725	6,592
東海	86,493	42,175
計	568,716 (567,674)	210,411 (209,369)

備考 カツコ内の数字は純輸出入額である。
明治17年「宮崎縣統計書」
102~103頁による。

右六港の合計輸出入額を以て宮崎縣全体のそれとみなして輸出入品を整理してみると、一一七表の如くである。

明治17年宮崎縣輸出入品表 (117表)

品名	輸 出		輸 入		差 引	
米	23,899石	95,729 ^円	501石	2,377 ^円	+ 23,398石	+ 93,352 ^円
大豆	22,773石(?)	7,394	—	—	+22,773石(?)	+ 7,394
小豆	—	—	500 ^斤	6,000	— 500石	— 6,000
紙	496,296束	32,371	—	—	+496,296束	+ 32,371
樟腦	81,376貫	50,221	—	—	+ 81,376貫	+ 50,221
樽丸	29,930丸	12,204	—	—	+ 29,930丸	+ 12,204
椎茸	29,774貫	65,926	—	—	+ 29,774貫	+ 65,926
杉板	322,630枚	14,515	—	—	+322,630枚	+ 14,515
杉尺	13,061本	24,925	—	—	+ 13,061本	+ 24,925
松板	90,971枚	6,464	—	—	+ 90,971枚	+ 6,464
松尺	18,024本	11,902	—	—	+ 18,024本	+ 11,902
櫓木	7,002挺	13,057	—	—	+ 7,002挺	+ 13,057
椎皮	3,950貫	3,565	—	—	+ 3,950貫	+ 3,565
鯉節	51,206 ^斤	34,802	—	—	+ 51,206 ^斤	+ 34,802
乾魚	5,704,700疋	23,371	—	—	+5,704,700疋	+ 23,371
鹽魚	77,144尾	11,396	—	—	+ 77,144尾	+ 11,396
安質母尼	250貫	2,100	—	—	+ 250貫	+ 2,100

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
麴	2,489貫	1,051 ^円	—	—	+ 2,489貫	+ 1,051 ^円
生 蠟	1,717 "	1,126	—	—	+ 1,717 "	+ 1,126
炭	2,617,860 "	57,178	—	—	+ 2,617,860貫	+ 57,178
下駄 木	55,880挺	2,936	—	—	+ 55,880挺	+ 2,936
荒 銅	17,000貫	37,141	—	—	+ 17,000貫	+ 37,141
食 鹽	—	—	44,575石	7,881	- 44,575石	- 7,881
清 酒	—	—	2,770 "	22,365	- 2,770 "	- 22,365
砂 糖	—	—	11,080貫	4,855	- 11,080貫	- 4,855
吳 服	—	—	6,956反	22,944	- 6,956反	- 22,944
太 物	—	—	56,815 "	50,300	- 56,815 "	- 50,300
繰 綿	—	—	1,960貫	3,180	- 1,960貫	- 3,180
篠 卷 綿	—	—	4,573 "	8,601	- 4,573 "	- 8,601
洋 反 物	—	—	7,920反 } 15,550碼 }	24,783	- 7,920反 } - 15,550碼 }	- 24,783
木 綿 糸	—	—	1,632貫	2,742	- 1,632貫	- 2,742
藍 玉	—	—	6,585 "	5,808	- 6,585 "	- 5,808
熟 鐵	—	—	5,520 "	2,145	- 5,520 "	- 2,145
石 炭 油	—	—	3,520函	7,610	- 3,520函	- 7,610
石 灰	—	—	57,686貫	4,808	- 57,686貫	- 4,808
陶 器	—	—	1,600個	3,600	- 1,600個	- 3,600
素 麵	—	—	12,495丸	3,486	- 12,495丸	- 3,486
鯨 ホシカ	—	—	1,012貫	1,500	- 1,012貫	- 1,500
醬 油	—	—	180石	1,980	- 180石	- 1,980
そ の 他	—	58,300	—	22,404	—	+ 35,896
計		567,674		209,369		+542,893 -184,588

備考 明治17年「宮崎縣統計書」106~109頁により作成す。

主要輸出品は米（一六%八）、椎茸（一二%一）、炭（一〇%五）、樟腦（九%四）、材木（八%）、荒銅（七%）、鯨節（六%）、紙（六%）など。主要輸入品は太物（二七%二）、吳服（一二%四）、洋反物（一二%四）などの衣類と酒（一二%一）とであった。（%はいずれも純輸出入額に對するもの）

鹿兒島縣

鹿兒島縣についても「西南諸港報告書」には記載がない。「鹿兒島縣統計書」も明治二十一年以前のものを見出すことができなかった。明治二十一年「鹿兒島縣統計書」には十九、二十、二十一の三箇年の各港輸出入額が掲載されておるが、十九年及び二十年の分は脱漏があつて不完全であるので、多少年代が降るが二十一年度についてみることにした。先ず港別輸出額をみると一一八表の如くである。

右を假に鹿兒島縣全体の輸出入額とみて、輸出入品を整理してみると一一九表の如くである。

これによると最大の輸出品は米で、純全輸出額の七一%六を占める。これに次ぐのは煙草(一五%三)、鯉節(一三%三)、樟腦(七%五)、地金銀(六%二)などであつた。

輸入品の最大なものは反物(四一%三)で、これに綿(八%三)、藍玉(七%三)、石油(五%三)、素麵(五%三)、太物(四%八)などがつづいておる。砂糖は七%四ぐらいの輸入品となつておるが、これは縣内(南島方面)輸入と考えられる。

以上は明治二十一年度の状態であるが、十年代においても大体の傾向は大差なかつたものと思われる。なお明治二十一年鹿兒島縣の米の生産高は四六四、四一〇石であるので、その二割二分位が輸出されていたこととなる。

明治21年鹿兒島縣港別輸出入表
(118表)

港名	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)
鹿兒島	1,363,538	1,002,406
高城郡川内河岸場	353,963	319,028
合計	1,717,501	1,321,434

備考 明治21年「鹿兒島縣統計書」167頁による。

明治 21 年鹿兒島縣輸出入品表 (119表)

品 名	輸 出		輸 入		差 引	
米	101,833石	414,782 ^円	6,958石	26,586 ^円	+ 94,875石	+388,196 ^円
大 豆	14,852 "	44,257	6,456 "	32,993	+ 8,396 "	+ 11,264
菜 種	12,127 "	38,044	3,168 "	11,405	+ 8,959 "	+ 26,639
泡 盛	549,040斤	21,140	1,777,979斤	67,474	-1,228,939斤	- 46,334
茶	381,607 "	47,862	—	—	+381,607 "	+ 47,862
砂 糖	2,251,568 "	88,128	3,278,380 "	137,823	-1,026,712 "	- 49,695
煙 草	1,107,100 "	160,419	—	—	+1,107,100 "	+160,413
生 糸	3,800石	22,800	—	—	+ 3,800石	+ 22,800
種 子 油	231,263 "	12,503	—	—	+231,263 "	+ 12,503
樟 腦	425,420 "	78,430	—	—	+425,420 "	+ 78,430
硫 黃	?	15,913	—	—	?	+ 15,913
生 蠟	88,560石	10,815	—	—	+ 88,560石	+ 10,815
椎 茸	60,861 "	15,685	—	—	+ 60,861 "	+ 15,685
錫	33,220 "	11,864	—	—	+ 33,220 "	+ 11,864
金銀地金	93個	65,165	—	—	+ 93個	+ 65,165
鯉 節	118,700貫	135,295	—	—	+118,700貫	+135,295
反 物	52,462反	38,590	591,951反	311,167	-539,489反	-272,577
鷄 卵	14,392箱	42,452	—	—	+ 14,392箱	+ 42,452
酒	—	—	776石	13,018	- 776石	- 13,018
綿	—	—	?	54,005	?	- 54,005
石 油	—	—	14,653箱	33,444	- 14,653箱	- 33,444
素 麵	—	—	105,810貫	33,009	-105,810貫	- 33,009
藍 玉	—	—	5,616個	48,645	- 5,616個	- 48,645
肥 料	—	—	178,565貫	19,642	-178,565貫	- 19,642
魚 類	—	—	13,700駄	41,100	- 13,700駄	- 41,100
鐵 地 金	—	—	253,906貫	71,116	-253,906貫	- 71,116
太 物	—	—	40,075反	32,060	- 40,075反	- 32,060
計		1,264,138		883,487		+1,045,296 - 664,645

備考 明治 21 年「鹿兒島縣統計書」167～169頁により作成す。

一〇、北海道

「開拓使事業報告」によれば、明治十年代の北海道内各港の輸出入額は一二〇表の如くである。

次に明治十四年をとり、元價十萬圓以上の重要輸出品をみると一二一表の如くである。

北海道各港輸出入額表 (120表)

港名	明治10年		同 13年		同 14年	
	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)	輸出額 (圓)	輸入額 (圓)
小樽	?	?	1,093,944	1,469,413	874,885	1,278,956
岩内	?	?	223,895	252,346	337,013	118,478
壽都	215,633	93,913	991,016	387,536	643,037	240,985
江差	446,383	321,338	1,140,584	1,390,587	926,528	1,034,232
福山	359,419	308,231	790,149	821,960	501,739	629,781
函館	799,580	876,373	2,297,104	5,193,603	2,713,340	8,622,863
室蘭	?	?	3,079	2,326	1,398	2,070
釧路	—	—	?	1,674	?	2,360
根室	60,351	1,685	222,404	4,661	289,405	25,357
その他	?	?	716,250	503,599	754,512	370,473
合計	?	?	7,478,425	10,027,710	7,041,857	12,325,564

備考 「開拓使事業報告」第三編 869~870頁による。

明治14年北海道主要輸出品表 (121表)

品名	數量 (石)	價格 (圓)
胴 鯨	133,032	774,639
身 缺 鯨	211,417	554,856
鯨 白 子	14,291	124,253
鯨 笹 目	27,156	149,996
鯨 粕	371,113	2,237,606
鯨 鱈	—	206,951
鯨 鮭	18,215	125,440
鹽 鮭	96,103	859,494
鹽 鮭	13,436	100,595
鰯 粕	41,567	300,515
昆 布	112,809	645,110
長切昆布	19,584	101,021
雜 貨	26,525	191,990

備考 「新撰北海道史」第三卷 523~524頁による。

表記のように主要輸出品は殆んど全部水産物であるが、中でも鯨鮨を筆頭に、鹽鮭・胴鯨・昆布・身欠鯨が主たるものであつた。次に輸入品につきやはり元價十萬圓以上のものを示すと一二二表の如くである。

表記のように最大の輸入品は米で、全輸入額の三割程度を占めていたものと思われる。その外では雜貨類・木綿・酒などが主な輸入品であつた。

結 び

以上、府縣別に明治十年代の國內輸出入を検討した。最後に全体を要約しておこう。

まず第一に指摘できることは、國內市場が一應できあがつていた點である。北海道の物産が四國中國はもちろ

んのこと、遠く九州のはてまで運搬されるときにも、中國九州の品物が東北から場合によつて北海道まで運ばれていたのである。こうした状態はすでに徳川末期から或る程度みられたのであるが、この時代になるとますます明白となつた。輸出入される商品の種類もきわめて多く、量の多少を問わないならば、殆んどあらゆる生産物が取引されていたといつて過言でない。最大の取引品は米であつて、多くの府縣において一、二を爭う輸出品かまたは輸入品であつた。その移動状況を概言するならば、東北及び北陸では石川縣を除き他はいずれも米の輸出縣であり、九州でも長崎縣を除き他はすべて輸出縣であつた。これに反し、近畿・東海の諸縣及び北海道はすべて輸入縣、中國でも岡山縣を除き他はみんな輸入縣、四國でも徳島縣が大きな輸入縣、關東でも茨城縣を除くと他は東京府を筆頭に輸入縣であつた。麥・大豆も當時は重要生産物であつたが、商品としての取引高は限られていたようで、少なくとも内國貿易品としてはあまり重要なものではなかつた。

明治14年北海道主要輸入表
(122表)

品名	数 量	價 額 (圓)
米	500,386石	36,699,380
鹽	一 貫	349,939
酒	70,838石	1,069,264
味噌	394,958貫	123,972
果實	134,102個	116,607
砂糖	一	133,002
蔴	一	328,209
繩	一	121,123
網	一	138,929
木綿	32,854個	1,288,922
太物	25,565 "	446,642
雜貨	933,748	3,674,528

備考「新撰北海道史」第三卷 524
~525頁による。

米に次ぐ重要な取引品はおそらく木綿・呉服・太物の類であつたろう。木綿は主として富山・鳥取・廣島・岡山・徳島・愛媛・大阪・愛知・三重の諸縣から輸出され、北海道・東北六縣・新潟縣・石川縣・東京府などに主に輸入された。呉服・太物類は上述の諸調査を綜合すると殆んどすべての府縣に輸入され、重要な輸出縣がないような結果になるが、これは恐らく統計の誤りと思われる。綿もまた相當重要な取引品であつた。綿は中國・四國・近畿及び東海の愛知・三重から輸出され、東北・北陸・九州・關東・北海道方面に輸入された。生糸は最も重要な生産物の一であつたが、國內貿易品としてはあまり重要ではなく、主要部分が海外に輸出され、國內品も陸路を利用して輸送されることが多かつたのではないかと思われる。

以上に次ぐ重要な取引品としては、魚肥・鹽・砂糖等があげられる。魚肥では鯀粕・胴鯀・笹目鯀・鯀粕・干鯀などが主なるものであり、殊にこの當時は鯀肥料が重要であつた。鯀肥料はすべて北海道から輸出され、北陸には胴鯀及び笹目鯀が、中國・四國・近畿方面には鯀粕が主に輸入された。干鯀及び鯀粕は千葉・茨城・福島・宮城・岩手・青森等の諸縣から輸出され、主として東京・大阪・兵庫などに輸入された。鹽は山口・廣島・岡山・徳島・愛媛等、瀬

全輸出入額 合計(圓)	純輸出入額 合計(圓)
2,286,219	2,286,219
777,795	777,795
5,266,149	5,266,149
1,593,279	1,593,279
2,323,593	2,323,593
1,364,192	1,364,192
7,566,247	7,566,247
4,085,427	4,085,427
2,684,502	1,538,006
1,435,379	1,297,499
4,737,688	4,737,688
8,604,340	1,297,113
7,893,646	5,717,830
6,162,728	4,881,079
11,216,854	11,216,854
8,985,988	8,985,988
17,939,910	4,191,666
30,445,998	12,420,396
11,799,703	?
2,603,237	843,850
4,413,701	3,853,389
25,240,410	7,169,658
2,801,343	1,821,658
5,156,105	?
?	?
4,955,985	?
7,313,752	?
9,543,748	6,289,059
3,442,830	?
9,181,110	?
2,177,971	2,153,971
1,847,224	1,680,380
779,127	777,043
3,038,935	?
17,506,135	17,506,135
237,171,250	

府縣別輸出入額 (123表)

府縣名	年次 (明治)	全輸出額 (圓)	純輸出額 (圓)	全輸入額 (圓)	純輸入額 (圓)
青森	12年	931,051	931,051	1,355,168	1,355,168
岩手	〃	500,116	500,116	277,679	277,679
宮城	〃	1,674,810	1,674,810	3,591,339	3,591,339
秋田	〃	829,005	829,005	764,274	764,274
山形	13年	1,513,683	1,513,683	809,910	809,910
福島	〃	562,777	562,777	801,415	801,415
新潟	12年	3,900,047	3,900,047	3,666,200	3,666,200
富山	11年	2,169,214	2,169,214	1,916,213	1,916,213
石川	13年	838,552	265,304	1,845,950	1,272,702
福井	11年	542,955	473,231	892,424	824,268
島根(鳥取)	13年	1,493,043	1,493,043	3,244,645	3,224,645
山口	〃	4,287,469	634,255	4,316,871	662,858
廣島	12年	3,332,649	2,319,767	4,560,997	3,398,063
岡山	〃	2,517,954	1,873,297	3,644,774	3,007,782
徳島	13年	3,918,894	3,918,894	7,297,960	7,297,960
愛媛(香川)	〃	4,750,179	4,750,179	4,235,809	4,235,809
兵庫	16年	8,299,707	1,420,587	9,640,203	2,771,079
大阪	17年	13,245,652	4,221,359	17,200,346	8,199,037
京都	13年	6,930,108	?	4,869,595	?
和歌山	16年	1,073,434	193,743	1,529,803	650,107
愛知	〃	1,314,614	1,034,398	3,099,087	2,818,991
三重	〃	13,360,164	4,315,752	11,880,246	2,853,906
靜岡	〃	1,583,610	1,096,000	1,217,733	725,658
神奈川	13年	1,765,352	?	3,390,753	?
東京	明治初年	?	?	24,720,350	?
千葉	13年	3,059,002	?	1,896,983	?
茨城	16年	4,937,197	?	2,376,555	?
福島	15年	4,947,225	3,302,984	4,596,523	2,986,075
熊本	13年	1,688,491	?	1,754,339	?
長崎	17年	4,142,594	?	5,038,516	?
佐賀	〃	1,309,900	1,297,900	868,071	856,071
大分	15年	1,332,137	1,248,715	515,087	431,665
宮崎	17年	568,716	567,674	210,411	209,369
鹿児島	21年	1,717,501	?	1,321,434	?
北海道	13年	7,478,425	7,478,425	10,027,710	10,027,710
計		112,516,227		124,655,023	

備考 秋田縣の數字は土崎港一港の輸出入額、山形縣は酒田一港の輸出入額。
合計額には東京府の數字は加算されていない。

戸内海に面する諸縣から輸出され、各地に輸入されたし、砂糖は四國の徳島・愛媛兩縣並びに沖繩が主要輸出縣であつた。もつとも、砂糖については綿糸とともに輸入の外國品がすでに相當に出廻つていたことも注意しなくてはならない。この外、酒・煙草・魚類・茶・鐵・古着・水油・藍・蠟・紙・疊表等も相當重要な取引品であつた。

これら商品の輸出入高もまた巨額に及んだ。全輸出入額をみると、輸出總計一億一千二百五十萬圓、輸入一億二千四百六十萬圓、輸出入合計二億三千七百十萬圓に達する(第一二三表)。この中には再輸出額が含まれており、純輸出入額はこれより少ないと思われるが、それにしてもその額が相當巨額であつたことは間違いない。この點に關し、當時の全生産物價額は明らかでないが、明治七年當時の全生産物價額が約三億七千萬圓餘にすぎなかつた(拙稿「明治七年府縣物產表の分析」)ことを留意すべきであらう。

輸出入港には各府縣の港の殆んど全部が含まれるが、その中でも次の諸港が重要港であり、○印は特に重要港であつた。

青森(青森)	○土崎(秋田)	能代(秋田)	○酒田(山形)	○新潟(新潟)	直江津(新潟)
出雲崎(新潟)	寺泊(新潟)	○代木(富山)	七尾(石川)	○坂井(福井)	敦賀(福井)
宮津(京都)	○境(島根)	○下關(山口)	三田尻(山口)	○尾道(廣島)	○廣島(廣島)
○岡山(岡山)	○津田(徳島)	○撫養(徳島)	○今治(愛媛)	阪出(愛媛)	○八幡濱(愛媛)
○兵庫(兵庫)	○飾磨(兵庫)	○大阪(大阪)	○堺(大阪)	○和歌山(和歌山)	○名古屋(愛知)
半田(愛知)	○龜崎(愛知)	○桑名(三重)	○四日市(三重)	○清水(静岡)	○神奈川(神奈川)
○浦賀(神奈川)	○銚子(千葉)	○境(茨城)	○東京	○石巻(宮城)	○寒風澤(宮城)
石濱(宮城)	○宮古(岩手)	○博多(福岡)	○若津(福岡)	○若松(福岡)	○百貫(熊本)

○長崎(長崎) 諸富(佐賀) 唐津(佐賀) 鹿兒島(鹿兒島) ○函館(北海道) ○小樽(北海道)

○江差(北海道) ○福山(北海道)

従つて、近世日本の國內市場の發達を知るがためには、少なくともこれらの中、重要な諸港における輸出入の狀態を或る程度年代を追うてあつておけることが必要であらう。

次に地域別にみると、取引の盛んだつたのは、第一二三表に示したように、やはり中國・四國・近畿及び近畿寄りの東海地帯であつて、その外では東北の宮城、北陸方面の新潟、關東の東京、九州の福岡・長崎、それに北海道などが比較的盛んであつたといえよう。また東北・北陸方面では再輸出が殆んどなかつたのに對し、中國・近畿・東海では再輸出が多かつたことも注意されなくてはならない。

更に内容に亘つてみるならば、東北六縣及び新潟縣では米が主要輸出品で、これに對し主として衣類關係品・北海道水産物・鹽・砂糖等が輸入された。衣類關係品では木綿・吳服・古手(古着)・綿などが主要なもの、北海道水産物は身欠鯨・鹽鮭鱒が重要なものであつた。北陸でも石川縣を除く富山・福井兩縣では米が最大の輸出品で、北海道水産物・砂糖・綿などが輸入された。ただこの方面の北海道水産物の主たるものは身欠鯨ではなく、魚肥としての胴鯨であつた。東北・北陸方面と内容的にみてやや同様の形態を示しているのは九州地區である。九州でも長崎縣を除くと他の諸縣は米が主要輸出品で、吳服太物類が主要輸入品であつた。ただこの地區には北海道水産物はあまり輸入されなかつた。中國・四國・近畿地區はこれとやや異なる。この地帯では米は岡山・愛媛兩縣を除くといずれの府縣でも主要輸入品であつた。またこの方面に輸入された北海道水産物の主たるものが鯨粕であつたことも注目し値する。主要輸出品はそれぞれ各府縣の特産品で、瀬戸内海諸縣の鹽、徳島及び愛媛の砂糖・藍、山口の紙、廣島の鐵・豐表、岡山の綿、兵庫の酒、大阪の木綿などがそれである。東海・關東方面でも一、二の縣を除けば米は主要輸入品で、外

第 124 表

府縣名	主 要 輸 出 品	主 要 輸 入 品
青 森	米(30~50%), 大豆(8~15%) 鱒粕(8~12%)	衣類關係品(44~52%) 北海道水產物(6~14%) 鹽(3~6%), 砂糖(4~6%)
岩 手	米・鮭	衣類關係品(55%)
宮 城	米(60~80%), 大豆(5~10%) 銅(5~9%)	衣類關係品(67~70%) 砂糖(6%)
秋田(土崎)	米(80%)	衣類關係品(30~40%) 北海道水產物(9~13%) 鹽(9~18%), 砂糖(8~10%)
山形(酒田)	米(82~89%), 酒(9~12%)	北海道水產物(63%) 衣類關係品(12~22%) 鹽(10~11%)
新 潟	米(70~80%), 麻縮布(7~10%)	衣類關係品(25~58%) 北海道水產物(10~20%) 鹽(5~13%), 砂糖(6~11%)
富 山	米(65%), 藥(14%) 木綿反物(9%)	北海道水產物(30%), 綿(23%)
石 川	魚類(34%), 漆器(17%)	米(21%) 北海道水產物(18%)
福 井	米(29%), 藥種(16%) 種油(12%)	北海道水產物(48%) 砂糖(8%), 鹽(7%)
鳥取(境)	鐵・木綿・綿	米・石油・水油
山 口	鹽(76%), 紙(22%)	米(60%), 石炭(12%) 砂糖(9%)
廣 島	鐵(25%), 鹽(12~16%) 燐表(11~12%), 綿(8~10%)	米(24~31%), 鯨粕(10%) 吳服太物(9~10%)
岡 山	米(29%), 鹽(18%), 綿(13%)	鯨粕(32%), 吳服(22%)
德 島	藍(74%), 砂糖(11%)	米(46%), 鯨粕(40%)
愛媛(香川)	砂糖・米・魚類・鹽	吳服太物・鯨粕・酒
兵 庫	酒	鯨粕・鯨粕・米

明治十年代の外國貿易

山口

大 阪	綿・木綿・酒	米・砂糖・鹽・魚肥
京 都	?	米・鹽・砂糖
和 歌 山	フランネル(45%)	米
愛 知	木綿(28%), 酒(15%) 陶器(14%)	吳服太物(22%), 綿糸(17%) 魚肥(12%), 砂糖(9%), 米(8%)
三 重	生糸(27%), 茶(22%) 木綿(16%), 陶器(10%)	洋糸(23%), 米(19%) 砂糖(18%), 吳服太物(12%)
靜 岡	茶(73%), 紙(11%)	繰物(39%), 麥類(11%) 米(10%), 大豆(10%)
神 奈 川	—	米・酒・鹽
東 京	?	米・酒・砂糖・材木・茶・鹽・木綿
千 葉	水産物・醬油	米
茨 城	絹糸(60%), 煙草(9%) 米(8%)	吳服太物(37%), 古着(19%) 小間物(18%)
福 岡	米(42%), 蠟(25%), 酒(9%)	繰綿(20%), 吳服(14%) 太物(8%)
熊 本	米・大豆・生蠟	吳服太物
長 崎	砂糖・鰯・蠟	吳服・米
佐 賀	米(50%), 石炭(23%)	吳服反物(27%), 煙草(14%) 綿(10%)
大 分	青蕈(31%), 米(27%)	太物(24%), 砂糖(21%) 綿(16%)
宮 崎	米(17%), 椎茸(12%) 炭(10%), 樟腦(9%)	吳服太物(40%), 洋反物(13%)
鹿 兒 島	米(71%), 煙草(15%) 鰹節(13%)	反物(41%), 綿(8%)
北 海 道	鯨粕・鹽蛙・胴鯨・昆布・身缺鯨	米・雜貨・木綿・酒

備考 %はそれぞれ全輸出高又は輸入高に對するもの。

に呉服太物・砂糖・鹽などが輸入された。主要輸出品はやはり各府縣の特産品または集荷品で、愛知・三重の木綿、静岡の茶、千葉の水産物、茨城の絹糸等がそれである。北海道においては鯨粕・胴鯨・身欠鯨・鹽鮭鱒・昆布などの水産物が輸出され、米・木綿・酒などが輸入された(一二四表)。

内國貿易の上からみても、北海道・東北・北陸・九州地區は他に比し、概して後進地帯であつたことがうかがわれるのである。